



# 学校通信

令和3年度 第1号  
令和3年 4月 6日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部 良美



## 「よいところみつけ名人になろう」4年目

校長 岡部 良美

開三小に育つ18本の桜の木が、咲き誇る花と若葉とともに、太陽の日に照らされ輝いています。本日の第1学期始業式、入学式をもって練馬区立開進第三小学校の令和3年度、開校89周年の教育活動が始まりました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

一年生125名、二年生124名、三年生121名、四年生114名、五年生125名、そして六年生は102名の全児童711名でスタートをいたしました。すべての学年の子供たちが元気に登校し、子供たちの活気と満面の笑顔を見て心が温かくなりました。そして、子供たちのリーダーとして活躍していく六年生の姿を見て、開三小の伝統を繋ぎ、よさを創り出していく、他学年の子供たちが学び憧れる流れが生まれることへの期待を私はもちました。

昨年度、保護者や地域の皆様には本校のよりよい教育活動に向けて協働していただきました。本校は教育目標『誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手となる子供』の育成を目指し、教育活動を進めています。現在とは大きく変化すると予想される2030年・40年代の社会において子供たちが活躍する上で必要な資質や能力を小学校段階で育てることを目指す教育目標です。その実現に向けて、今年度も『児童の学びを豊かにする社会に開かれた教育課程』の質的向上を図り、生活科と総合的な学習の時間を核として、子供一人ひとりが自分事になる活動を進めてまいります。そのためにも、教師の指導力・授業力の向上を図ってまいります。そして、子供一人ひとりが誇りと自信をもって学び、活動し、表現する姿を保護者・地域の皆様に共有していただくとともに、地域に貢献できる子供の育成を実践的に研究していきます。

本日の始業式・入学式の日において、私は子供たちに、

「開三小の1年間のめあては、『よいところみつけ名人になろう』です。この意味は、自分のよいところも、友達のよいところも見付ける名人のことです。みなさんは毎日、どんどんよいところが増えていきます。一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してもらったところなどを見付けましょう。」

と伝えました。このめあては4年目になります。『自分のよいところが分かる』、『友達によいところを認めてもらう』ことは、『自分はこれでよい存在なのだ』と思える自信に繋がり、前向きになります。それに伴って、友達など他を受け止め、受け入れる、対話・協力する、自分の主張を相手に譲り、相手のために力を尽くす行動にも繋がると考えます。お互いのよさが分かっている、自分のことが分かってもらえると思えば、安心して学校生活を送れます。友達と仲良くすることはもちろん、学習においても間違ふことを恥ずかしながら一生懸命考え判断し表現するなど、個性と能力を発揮できる挑戦できる環境になると確信しています。88年前に第2代校長が定めた校訓『一貫至誠』と合わせて、今年も開三小を創っていきます。